

**(仮称) 太田駅北口駅前文化交流施設
整備基本方針**

**平成26年1月
太 田 市**

目 次

1	太田駅北口駅前における文化交流施設の役割	1
2	立地場所	2
3	太田駅北口駅前の現状と課題	2
4	既存の図書館及び美術館機能の現状と課題	2
	(1) 図書館の現状と課題	
	(2) 美術館の現状と課題	
	(3) アンケートからの市民の声	
5	文化交流施設の基本的な考え方	4
	(1) 人にやさしい施設	
	(2) 環境に寄与する施設	
	(3) 賑わいのある施設	
	(4) 市民とつくる施設	
6	文化交流施設の基本的な機能	5
	(1) 図書館の基本的な機能	
	(2) 美術館の基本的な機能	
	(3) その他の施設等の基本的な機能	
7	文化交流施設の運営及び維持管理の考え方	8
	(1) 図書館の運営	
	(2) 美術館の運営	
	(3) 図書館と美術館の連携	
8	文化交流施設の面積・配置の考え方	10
	(1) 図書館機能	
	(2) 美術館機能	
	(3) 必要諸室等	
	(4) 駐車場(予定地内)	

位置図	11
-----	----

9 参考資料

- (1) 既存図書館の利用状況
- (2) 太田市収蔵美術品一覧及び収蔵美術展実施状況
- (3) 市民アンケート結果

1 太田駅北口駅前における文化交流施設の役割

(1) 背景

太田駅周辺の整備は、駅周辺街区の有効な高度利用を図り、経済ポテンシャルの高い都市環境を合わせ持つ、本市の顔にふさわしい地区を創出するため、平成8年度から「太田駅付近連続立体交差事業」と「太田駅周辺土地区画整理事業」がスタートした。平成18年度に、東武鉄道の高架化・太田駅駅舎の改修・南北自由通路開通など連続立体交差事業が完了し、それまで分断されていた駅周辺の一体化がなされ、平成21年度には、太田市の新たな玄関口として太田駅北口駅前広場が移転整備された。

また、本市では太田駅周辺に市営住宅、保健センター、市民ギャラリー等の都市施設を配置し、まちづくりを進めているが、商店街の衰退が著しく、この区域に人を呼び込むような核となる施設の整備が急務となっている。そこで、移転整備に伴い更地となった旧北口駅前広場を有効活用することも狙い、まずは行政として市内外から人を呼び込むための仕掛けを打ち出し、これを推進剤として中心市街地の活性化、駅前の賑わい創出のため、市民や駅利用者が気軽に利用・滞在できる文化交流施設の整備について検討することとした。

(2) 施設の役割

人が集まりやすい駅前に文化施設を設けることで、市民及び来街者が文化に触れやすい環境を目指すもので、本計画では本市の新たな駅前文化複合施設として、図書館機能や美術館機能を活用した文化交流により、太田駅周辺の賑わいを図る。また、太田駅周辺にある「駅なか文化館」（市民ギャラリー）や「まちかど美術館」との連携により、「アートによるまちづくり」を展開し、本市の文化をより豊かにすることを目的として整備するものである。

さらに、太田駅南口駅前広場整備や太田駅周辺土地区画整理事業での面的整備など、快適な都市環境を高める機能と連携し、中心市街地に文化的な魅力をつくりだし、人々を呼び込む役割を担うものとする。

施設のあり方については、従来型の複合型公共施設の概念を一新し、各施設・各機能を有機的に連携させることで、個々の機能を越えた新たな価値や空間を提供できるような施設を目指す。

少子高齢社会の到来を目前に控え、コンパクトなまちづくりが求められる中、鉄道やバスといった公共交通の集積地としてポテンシャルの高い北口駅前に文化交流の核となる施設を整備することで、再び中心市街地に人・モノ・賑わいを呼び戻すとともに、新たな価値観を求めて訪れる人々により地域に回遊性が根付くことを望む。

これらによって、まちの賑わいのベースができれば、民間企業の進出等が期待できる。結果として市の顔にふさわしい駅前地区を形成することとなり、都市全体の再構

築に繋げていく。

2 立地場所

文化交流施設は、太田駅北口駅前広場に隣接している旧北口駅前広場跡地に建設することとする。駅前という立地条件からも分かるとおり、賑わいを創出させるポテンシャルは高く、近隣にある「駅なか文化館」や「まちかど美術館」との連携事業も可能であることから、文化の情報発信拠点としての優位性も高い。本市のまちづくりの発展を考えたときに、最も重要な場所であると言える。(位置図参照)

3 太田駅北口駅前の現状と課題

太田駅北口駅前は「太田駅付近連続立体交差事業」と時期を同じくスタートした「太田駅周辺土地区画整理事業」の区域内に位置している。また、現在の北口駅前広場は、東武鉄道の高架化・太田駅駅舎の改修・南北自由通路開通など、駅周辺の一体化が完了した後に整備され、平成 21 年より供用を開始している。さらに、太田駅周辺は太田市景観計画により景観形成重点地区指定検討候補地に位置づけられており、太田市の顔となる景観づくりが求められている。

太田市の玄関口である太田駅は、東武鉄道の伊勢崎線、桐生線、小泉線の 3 路線が乗り入れる鉄道交通の要衝であり、1 日平均の乗降者数は 10,000 人を超えるものの、通勤・通学を目的とした利用者が中心となっているため、日中の駅利用客は少なく、北口駅前を歩く人の姿はまばらである。

そのため、駅前商店街の衰退と相まって、太田駅北口駅前は太田市の中心としての賑わいはなく、閑散とした状態が続いている。

また、駅中には前述の「駅なか文化館」や「エフエム太郎」(地域密着型 FM ラジオ放送局)といった公共施設はあるものの、駅利用者が電車の待合い時間等に気軽に休める場所が少なく、市民からそのような施設・店舗の充実を望む声が寄せられている。

4 既存の図書館及び美術館機能の現状と課題

(1) 図書館の現状と課題

太田市は、平成 17 年 3 月 28 日に旧太田市、旧尾島町、旧新田町及び旧藪塚本町が合併してできた市である。これにより、各地域に所在していた中央図書館、尾島図

書館、新田図書館及び藪塚本町図書館の4館体制となっている。開館時間や閉館時間、休館日の設定などは統一されず、独自の決まりを導入しているが、図書カードを一新し、他館でもそれ一枚で利用ができるようになり、4館での連携により運営が行われている。また、インターネットにより、蔵書の検索サービスや現在借りている本などの確認ができるほか、借りたい本が貸し出し中であるときに限り、インターネットでの予約が可能となっている。このとき他館にしかない本も予約することができるなど利便性の向上に努めている。（既存図書館の利用状況：統計資料参照）

市民満足度アンケートの結果では、「芸術と文化の振興」について「不満」と回答した人のうち図書館サービスの充実を求める意見が3分の1を占めている。不満理由としては、「図書館の整備・充実」が約70%であり、具体的な意見については、「市民が利用しやすい環境づくり」、「開館時間の延長」、「読書に親しめるような仕組みづくり」、「カフェや物販機能を併設した図書館の設置」などが挙げられている。

図書館利用者からの要望としては、飲食可能な図書スペースの設置や雑誌の充実を望む声が挙げられている。

（2）美術館の現状と課題

市内には、日本刀の重要無形文化財保持者（人間国宝）であった、大隅俊平刀匠の作品を展示している「大隅俊平美術館」の他、地域の歴史的な人物や史跡にゆかりのある歴史資料を展示している施設が計5施設、それとは別にギャラリー機能を有する「まちかど美術館」が存在する。しかしながら、これらの施設に展示されている作品は、文化財や市民レベルの作品であり、常設されたアート作品に触れる場としての公共施設は存在せず、企画展等で著名な作品を鑑賞できるような公共施設も市内には存在しない。また、市が収蔵する美術品（絵画、陶芸、書など）及び重要無形文化財保持者（人間国宝）であった、飯塚成年氏の竹工芸品などは分散して収蔵されており、収蔵庫自体も手狭であるため、新たな収蔵庫が求められている。

また、市民満足度アンケートでは、「他市や都内に出ていかなければ芸術に触れる機会が持てない」といった意見が寄せられている。

（3）アンケートからの市民の声

平成25年11月18日から12月6日の期間で実施した「太田駅北口のにぎわい創出に係るアンケート」では、文化交流施設について、どのような機能を市民が求めているのか調査した。

本施設では太田駅周辺の昼間人口増加が命題となっているため、平日・昼間に外出可能な人を対象とし、市内4図書館、児童館及びこども館利用者を調査対象とした。

求める機能としては「併設カフェ」が最も多く、「近隣駐車場の割引」、「参加型イベント・講座の充実」、「芸術・文化に触れる機会」、「遅い時間までの開館」といった

回答も多く見られた。

子育て世代のみを抽出してみると「併設カフェ」が最も多かったが、「託児所・授乳施設の併設」や「開放的な広場」など、世代特有の機能を求める声も多かった。

また、就労世代のみを抽出してみると、「居心地の良い空間」を求めているという結果となった。

図書館を一度も利用したことがないと回答した人が求める機能は、「併設カフェ」など既存図書館にないものが多い。本施設がこれらの機能を有することで、新たな利用者層が関心を示すと推察される。(詳細については、参考資料「太田駅北口のにぎわい創出に係るアンケート調査(結果)」参照)

5 文化交流施設の基本的な考え方

(1) 人にやさしい施設

ヒューマンスケールや施設利用に至る経路を含めたアクセシビリティに配慮するとともに、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰にでも利用しやすい施設とする。また、利用者目線を最優先とし、利用者にとって、家、職場・学校に続くサードプレイスとなるような居心地の良い快適な空間の演出と機能の充実を図るものとする。

(2) 環境に寄与する施設

自然素材や先進的な環境配慮技術を効果的に取り入れるとともに、太田市の顔をより一層引き立て、文化施設にふさわしいデザイン性の高い施設とし、駅前に文化的環境をつくりだし、周囲の景観形成に寄与する施設とする。また、経年変化を楽しめ、長期に渡り親しみや愛着が持てる施設とする。

(3) 賑わいのある施設

図書館や美術館機能が有機的に交わり、個々の機能を超えた新たな価値や空間を提供し、利用者の生活をより豊かにできるような施設とする。さらに、公共交通機関を有効に活用し、駅や周辺の既存施設とも連携させながら、中心市街地の賑わいを創出させる核となる施設とする。

(4) 市民とつくる施設

設計段階から運用開始までの過程において、地域住民とのワークショップやフィールドワーク、委員会等の企画・検討を積極的に行い、市民とつくり上げる施設とする。

6 文化交流施設の基本的な機能

文化交流施設の基本的な機能は以下の通り。なお、以下の機能は、管理運営上の合理性を考慮することを前提に、明確に分離することも、有機的に繋げることも可能とする。

(1) 図書館の基本的な機能

市内には中央図書館を含め既存の図書館が4館存在する。文化交流施設に設置する図書館については、これらの図書館と比較し、より敷居の低いサテライト的な位置づけとすることで、日常的に図書館を利用していない層を取り込み、市民の暮らしを支援する機能を持たせ、戦略的に既存図書館の活性化へと繋げていく。さらに、当該エリアの昼間人口の増加を図るため、子育て世代やビジネスマンのニーズに適う機能を持たせつつ、駅利用者の利便性を追求する。

既存の図書館は、情報や知識の収集及び自己学習等の場としての機能を有するものであるが、文化交流施設内の図書館については、既存の図書館の概念にとらわれることなく、「時間と場所の提供」や「本ではなく人が動く（入れ替わる）仕組み」に重点を置くこととする。主な機能や空間に対する考え方等は以下のとおり。

① 雑誌・新聞コーナー

新聞 20 紙、雑誌 400 種程度とする。バックナンバーとして1年分を保存する。ブラウジングコーナーにふさわしい、ゆったりとしたソファ席を 30 席程度用意する。

② 絵本を中心とした児童書コーナー

親子で利用できる専用のテーブルを置き、絵本や児童向けの図書、約 10,000 冊を配架する。本の表紙が見える配架も採用する。親子で読書できる閲覧席を用意する。

③ 一般図書開架コーナー

大きなテーマとして、楽しみ方（旅行）、暮らし方（料理、医療・健康）、生き方（人文）に関する図書を中心に配架する。冊数は約 65,000 冊とする。多人数掛けの閲覧席と、個人閲覧席を、150 席程度バランスよく配置する。

④ 現代アートやデザインなど芸術・クリエイティブ分野の蔵書

⑤ カフェ機能の併設（本施設は基本的にコーヒー等を飲みながら読書や休憩ができる施設を想定している）

⑥ B D S（ブックディレクションシステム）を1階のみに設置するなど、蔵書を館内全てに持ち運べるような動線の確保

⑦ 子育て世代とビジネスマンが共存でき、静けさよりも賑わいや交流を中心とした間取り

⑧ 既存図書館のサテライト施設として位置づけることで、閉架書庫は既存図書館に

集中させ、当該施設は開架のみとする。

(2) 美術館の基本的な機能

「アートによるまちづくり」をテーマに、現代アートを核に据え、企画展やコミッション・ワークによるパーマネント作品を主な構成とし、ワークショップやアーティストトークなど、さまざまな企画・プログラムを実施する美術館とする。

企画展では、絵画、彫刻、写真、インスタレーション、映像作品などに加え、アーティストによるワークショップの開催など、現代アート分野におけるあらゆる形態の作品を想定する。また、パーマネント作品は屋外や共有スペースに効果的に設置し、訪れる人々が気軽にアートに触れ、楽しむことができるエンターテインメント性の高い施設とする。コミッションによるパーマネント作品は、企画展では実現できない建築と一体となった大掛かりな作品など、企画展が開催されていない準備期間においても、人々がアートに接し、賑わい創出の一助とすることを考慮する。主な機能や空間に対する考え方等は以下のとおり。

- ① コンパクトかつ話題性や集客力のある企画展を開催できる展示スペース
個展・グループ展・大型インスタレーションなどに対応できる展示室であること。
展示室の面積配分、室数は提案による。ただし、展示室形状は直方体もしくは立方体とし、壁面、天井、床が斜め、曲面などの展示室形状は原則認めない。
- ② コミッションによるパーマネント作品のための展示スペース
無料ゾーンに配置。屋外1作品、室内3作品程度を想定。
- ③ ワorkshopやアーティストトーク等が開催できるイベントスペース
図書館機能との融合も可能とする。
- ④ コラボレーション・スタジオ
アーティストやデザイナーと、ものづくり企業のコラボレーションの場。スタジオにて作品の創作活動が行えるスペースとし、その活動が来館者や街を行き交う人々からも見えるオープンなスペースであることが好ましい。イベントスペースとの兼用も可能とする。
- ⑤ 搬入スペース・バックヤード
主に企画展のための作品搬入、開梱、クレーン保管、展示準備作業等を行う。
- ⑥ 収蔵庫
本市が収蔵する美術品（絵画を中心とする）を集約する。最低でも80㎡を確保する。
- ⑦ 街に徹底的に開かれることを意識し、地域と繋がる美術館
アート作品や美術館内での活動が外から見えるなど、駅前を行き交う人々などが日常的にアートに接することのできる空間構成が好ましい。また、美術館内での作品展示にとどまらず、北口商店街などをはじめとする街なかでのアート作品の

展示も考慮し、街に対して徹底的に開放的、街と繋がる構成が好ましい。

- ⑧ 新たな価値観の創出・展示だけでなく、そこに関わる人それぞれがツールとして活用できる美術館（主な施設活用方法案は以下のとおり。）

・ **市民**

アート作品を身近に感じるとともに、斬新な発想、クリエイティブなアイデアなどを知ることができる。また、作品を通じて地域に存在するものづくりのカルチャーや技術力の豊かさを知ることができる。

・ **アーティスト**

作品展示などにより、表現の機会を得られる。またイベント、ワークショップ、コラボレーションなどを通じた地元市民や地元ものづくり企業などとの交流ができる。

・ **ものづくり企業等**

クリエイティブな発想や知の集積地として認識してもらい、新たな価値観やものづくり技術を発見できる。

・ **一般来訪者**

国内外のアーティストによる作品に触れることができ、イベント等にも参加できる。

*** コミッション・ワーク**

依頼制作によるアート作品。場所、環境、歴史などに合わせ、その場所のためだけに作品を制作すること。他には存在しない、この施設のためにつくられる唯一無二の作品。

*** パーマネント作品**

半永久的に設置されることを前提とした恒久展示作品。近年、国内の美術館などでも増加傾向にあり、企画展では実現し難い、建築と一体となった大掛かりな作品の制作が可能。

(3) その他の施設等の基本的な機能

① **視聴覚ホール**

映像・音響・舞台設備を備えた多目的ミニホール 100席程度（可動式）

各種講演会や映画・寄席、アーティストトークやレクチャーなど多様なジャンルの文化発信の場とする。図書館や美術館、屋外広場等との一体的な使用も可とする。

② **管理事務室**

図書館および美術館機能の運営管理を行うための管理事務室。図書館・美術館兼用も可能とする。

③ ミュージアムショップ

来館者が日常的にアート、デザインに触れられ、芸術分野への関心を促進する目的で、デザイン・アート関連書籍やアートグッズ、デザイングッズなどの販売を行う。アーティスト・クリエイターと地域のものづくり分野とのコラボレーションによるオリジナルグッズの開発、販売なども視野に入れる。

④ ロッカー

図書館および美術館利用者が使用できるコイン式ロッカー等。

⑤ 授乳室

図書館とエリアを区別する

⑥ 機能的・知的な共有スペース（例：壁面を本棚として活用、休憩スペースの設置等）

⑦ wi-fi 等、インターネット環境の整備

⑧ 屋外広場

⑨ 障がい者用及び親子用の駐車場を除き、一般利用者の駐車場は基本的に設置しない。

7 文化交流施設の運営及び維持管理の考え方

本施設では、従来の公共施設の既成概念にとらわれず、図書館、美術館及びその他の機能を有機的に連携させた管理運営を実現するため、指定管理者制度の導入を予定している。

開館時間及び閉館日については、駅前であることの場所性や利用者のニーズに対応できるよう、コストとの調整を図りながら、既存施設以上の拡大についての検討を進める。

(1) 図書館の運営

① だれもが使える図書館

既存図書館のサテライト施設として位置付けることにより、身近なところで気軽に利用できる図書館を目指す。また、居心地の良い第三の場所「サードプレイス」＝「街の中の居間」という考え方のもと、だれもが図書館を利用できるよう、高齢者や障がい者、多様な文化を持つ人々へのサービスに努める。

② 子育て世代の読書環境の整備

一人ひとりの子どもが、感性や人間性を育み、大きく変化する社会情勢にも対応できるよう、子育て世代を支援する図書館を目指す。また、子どもたちが読書に関心をもち、いつでも読みたいときに興味ある本に出会えるよう、読書環境の整備に努める。

- ③ 市民や地域に役立つ図書館
ビジネス支援、子育て支援に役立つ取組みを積極的に行うとともに、旅行、料理、医療・健康等に関する情報を収集し、市民の生活課題に応えるよう努める。また、暮らしや豊かな読書を支える情報拠点として、多様な雑誌や情報誌を中心に収集・提供し、市民の日常生活に役立つ図書館を目指す。
- ④ 観光客や来訪者に優しい図書館
駅前に立地することから、鉄道を利用して本市を訪れた観光客やビジネスマンなどに太田市を紹介できる郷土資料や観光情報を提供できるよう努めるとともに、駅利用者が電車の待合い時間等に気軽に休める場所を提供する。
- ⑤ ICT(Information and Communication Technology)化への対応
デジタルとアナログ資料が混在するハイブリッド・ライブラリー方式の情報提供を実現することにより、市民の課題解決を支援する。特に情報技術に関する進歩はめざましく、こうした変化に柔軟に対応できる図書館を目指す。
- ⑥ 弾力的な管理・運営
利用者サービスのより一層の向上のため、IC タグ (UHF 帯) の活用、セルフカウンターの導入など新しい技術や他の図書館及び異業種の発想や手法を積極的に学び活用することにより、弾力的かつ効果的な管理・運営に努める。

(2) 美術館の運営

- ① 芸術を身近に感じられる美術館
市民が身近に芸術を楽しむ文化を育むことにより、文化の創造と共生を目指す。また、コミッション・ワークを積極的に取り入れ、パーマネント作品を効果的に設置し、訪れる人々が気軽にアートに触れ、楽しむことができるよう努める。
- ② 太田市の特色を生かした展示
自動車産業を中心としたものづくりの街へと発展してきた地域性を活用し、製造業が培ってきた技術とアーティストのコラボレーションによる新たな価値観の創出をテーマとした作品の展示を積極的に行う。
- ③ 市民に開かれ親しまれる美術館
展示や事業を通じて、美術の初心者や子ども達をはじめとした、幅広い層に対してアートとの出会いや新しい体験を提供する。また、より積極的な情報発信や誘客を促進するため、収蔵作品の紹介やイベント、ワークショップ等を実施する。
- ④ 現代を見すえ次代を先取りする美術館
アートにかかわる活動を行う個人や団体の交流拠点やネットワークの中心機能を果たす。さらに、美術館のコンテンツやネットワークを活かし、産業界との連携で商品化を図るなどの展開を試みる。

(3) 図書館と美術館の連携

蔵書やアート作品、空間を相互に活用することで、利用者に新たな出会いを提供するとともに、利用者の興味や知識の深化を促す。

8 文化交流施設の面積・配置の考え方

施設の計画面積（延床面積）を3,200 m²程度と想定した場合、各機能の面積については、図書館機能1,800 m²程度、美術館機能1,400 m²程度を基本割合とするが、これにこだわるものではない。

(1) 図書館機能

- ・雑誌・新聞コーナー
- ・児童書コーナー
- ・一般図書コーナー
- ・カフェ（厨房含む）
- ・視聴覚ホール（100席程度）
- ・倉庫
- ・トイレ

(2) 美術館機能

- ・企画展室
- ・パーマネント作品（室内3箇所、屋外1箇所（屋外は面積含めず））
- ・イベントスペース兼コラボレーションスタジオ
- ・ミュージアムショップ
- ・収蔵庫（80 m²程度）
- ・搬入口・開梱スペース
- ・倉庫
- ・トイレ

(3) 必要諸室等

- ・必要とする諸室等は適宜設ける

(4) 駐車場（予定地内）

- ・障がい者用 3台程度
- ・親子駐車場 10台程度

位置図



予定地周辺図



参 考 資 料

- 既存図書館の利用状況

1. 平成24年度 概要及び事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1)開館日数

(単位:日)

	中央図書館	尾島図書館	新田図書館	藪塚本町図書館
開館日数	323	282	280	283

(2)登録者

(単位:人・団体)

図書館名		一般	学生	児童	合計	団体
中央図書館	男	11,340	2,299	1,993	15,632	15
	女	15,915	2,954	2,272	21,141	
	計	27,255	5,253	4,265	36,773	
尾島図書館	男	1,606	755	453	2,814	37
	女	2,524	761	453	3,738	
	計	4,130	1,516	906	6,552	
新田図書館	男	3,140	884	683	4,707	108
	女	4,585	1,040	777	6,402	
	計	7,725	1,924	1,460	11,109	
藪塚本町図書館	男	1,837	773	551	3,161	16
	女	3,460	935	604	4,999	
	計	5,297	1,708	1,155	8,160	
合計	男	17,923	4,711	3,680	26,314	176
	女	26,484	5,690	4,106	36,280	
	計	44,407	10,401	7,786	62,594	

(3)図書館利用者

(単位:人)

図書館名	館外	館内	合計	1日平均
中央図書館	154,436	48,469	202,905	628
尾島図書館	27,471	37,267	64,738	230
新田図書館	62,268	70,267	132,535	473
藪塚本町図書館	29,568	31,620	61,188	216
合計	273,743	187,623	461,366	387

※ 館外：館外貸出利用者

※ 館内：館内閲覧者

(4)貸出利用者

(単位:人)

図書館名	年度	一般	学生	児童	合計	団体
中央図書館	22	126,197	9,483	28,611	164,291	1,450
	23	122,035	8,975	28,078	159,088	1,748
	24	117,523	9,076	26,571	153,170	1,266
尾島図書館	22	23,528	2,221	5,732	31,481	130
	23	22,159	1,923	4,979	29,061	147
	24	20,992	1,759	4,590	27,341	130
新田図書館	22	47,648	3,740	10,846	62,234	553
	23	46,596	3,600	11,336	61,532	549
	24	47,359	3,444	10,941	61,744	524
藪塚本町図書館	22	23,322	2,988	7,406	33,716	107
	23	22,211	2,047	7,063	31,321	143
	24	21,447	1,577	6,394	29,418	150
合計	22	220,695	18,432	52,595	291,722	2,240
	23	213,001	16,545	51,456	281,002	2,356
	24	207,321	15,856	48,496	271,673	2,070

(5)資料保有状況

(単位:冊・点)

図書館名	図書資料	視聴覚資料	合計
中央図書館	395,024	19,294	414,318
尾島図書館	71,113	3,894	75,007
新田図書館	181,103	16,248	197,351
藪塚本町図書館	76,388	3,728	80,116
合計	723,628	43,164	766,792

(6)資料貸出状況

(単位:冊・点)

図書館名	図書	視聴覚	合計	一人平均	合計のうちの 団体貸出数
中央図書館	413,153	60,729	473,882	3.1	11,159
尾島図書館	82,134	17,050	99,184	3.6	343
新田図書館	194,174	46,796	240,970	3.9	7,679
藪塚本町図書館	92,665	12,949	105,614	3.6	1,651
合計	782,126	137,524	919,650	3.4	20,832

(7)その他事業

1) 中央図書館

①図書資料宅配利用状況

(単位:人・件・冊)

年度	登録者			宅配件数			宅配冊数		
	有償	無償	合計	有償	無償	合計	有償	無償	合計
22	5	57	62	54	864	918	254	3,246	3,500
23	5	58	63	56	942	998	260	3,856	4,116
24	3	56	59	62	725	787	290	2,971	3,261

②近藤文庫利用状況

(単位:件・冊・日)

年度	利用件数	利用冊数	開設日数	1日平均利用件数	1日平均利用冊数
22	389	882	302	1.3	2.9
23	354	838	250	1.4	3.4
24	289	658	234	1.2	2.2

③その他事業実施状況

事業名	開催日	会場	参加者数	回数
読書グループ文学散歩	6月29日	富岡市	31	1
文学講座 「徒然草をどう読むか」	6月21日～7月19日 (毎週木曜日)	第一研修室	321	5
文学歴史講座 「地名のはなしあれこれ」	1月17日～1月31日 (毎週木曜日)	第一研修室	199	3
おはなし会定例会	毎週水・土曜日 (休館日は除く)	こどもふれあい ルーム	1,225	95
おはなし会夏休み特集	8月18日	こどもふれあい ルーム	34	1
おはなし会クリスマス特集	12月15日	第一研修室	132	1
ふる本市	10月27日、28日	スポレク祭会場		1
ブックスタート	毎月3回 4ヶ月健診時	保健センター	984組	36

2)尾島図書館

①その他事業実施状況

事業名	開催日	会場	参加者数	回数
絵本のページをめくる クリスマス会	12月22日	尾島行政センター	60	1
古本市	6月30日～7月1日 12月1日～2日	図書館内		2
ブックスタート	毎月1回	保健センター	347組	12

3)新田図書館

①その他事業実施状況

事業名	開催日	会場	参加者数	回数
ボランティア団体「くわのみ」による 「おはなしまつり」	4月30日、7月29日、 9月29日、3月31日	講座室	92	4
古本市	9月27日～30日 2月8日～10日	親子図書室 西側	6,368冊	2
読書講演会 (関口展先生)	2月9日	講座室	45	1
ボランティア団体「くわのみ」による 「クリスマス会」	12月16日	講座室	84	1
おかあさん人形劇	3月3日	講座室	50	1
音楽会	6月9日、9月29日 12月9日、3月30日	講座室	540	4
ボランティア団体「くわのみ」による 「おはなし会」	毎週土・日	お話コーナー	495	90
ブックスタート	毎月1回	保健センター	287組	12

4)藪塚本町図書館

①その他事業実施状況

事業名	開催日	会場	参加者数	回数
クリスマスのおはなし会	12月25日	文化ホール 多目的室	63	1
おはなし会	毎月1回 (8・3月除く)	幼児コーナー	873	10
ブックスタート	毎月1回	保健センター	269組	12
古本市	9月11日～16日 3月19日～24日	図書館内		2

2. 平成25年度 事業計画(案)

(1) 中央図書館

事業名	開催日	会場	参加者	概要
読書グループ 文学散歩	6月27日	茨城県笠間市	会員	文学にまつわる場所を訪ねて体験を通して、より深く文学に親しみ、会員の親睦を図る。
合同読書会	未定	未定	会員	読書団体等の育成指導のため、読書グループの会員を中心に、テキスト作品を決めて話し合いをする。
文学講座 (5回)	7月5日～ 8月2日(毎 週金曜日)	第一研修室	一般 80人	源氏物語をわかりやすく解説し、文学に対して理解を深め、読書に関心を持っていただく。
文学歴史講座 (3回)	3月	第一研修室	一般 80人	太田市に関する歴史的を、テキストや講義を通して学習し、読書の普及と生涯学習の推進を図る。
おはなし会 定例会	毎週 水・土曜日 (休館日は除く)	こどもふれあい ルーム	幼・児童 保護者	幼児や児童を対象に豊かな情操を育み、親と子のふれあいを深めるため、太田おはなし会と共催で開催する。
おはなし会 夏休み特集	8月24日	こどもふれあい ルーム	幼・児童 保護者	夏休み期間中に特集として、定例会では出来ない中規模の催しを行う。
おはなし会 クリスマス特集	12月21日	第一研修室	幼・児童 保護者	クリスマス絵本の読聞かせ、大掛かりな人形劇などを行い、親子で楽しみながらふれあいを深める。
ふる本市	2月	ギャラリー	一般	リサイクル本及び除籍した図書・雑誌を利用者に無料で提供する。

ブックスタート	毎月3回 4ヶ月健診時	太田市保健 センター	4ヶ月児 と保護者	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して触れ合う時間を持つことを支援する事業。読み聞かせをし、絵本2冊を贈呈する。
---------	----------------	---------------	--------------	---

(2) 尾島図書館

事業名	開催日	会場	参加者	概要
クリスマス会	12月	未定	幼・児童 保護者	クリスマス絵本の読み聞かせ、人形劇などを行い、親子で楽しみながらふれあいを深める。
古本市	6月29日～ 30日 12月	図書館内	一般	リサイクル本及び除籍した図書・雑誌を利用者に無料で提供する。
ブックスタート	毎月1回	保健センター	4ヶ月児 と保護者	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して触れ合う時間を持つことを支援する事業。読み聞かせをし、絵本2冊を贈呈する。

(3) 新田図書館

事業名	開催日	会場	参加者	概要
読書講演会	1月	講座室	幼稚園・ 保育園保 護者	子どもと絵本の関わり、絵本の与え方や選び方についての講演会を開催する。
くわのみ おはなしまつり	6月30日 9月29日 3月30日	講座室	一般	エプロンシアター パネルシアター 絵本、紙芝居の読み聞かせを行う。
くわのみ クリスマス会	12月15日	講座室	一般	クリスマスの歌の合唱や人形劇の上演を行う。
くわのみ おはなし会	毎週 土・日曜日	お話コーナー	一般	絵本、紙芝居の読み聞かせを行う。 土曜日 14:30～ 日曜日 11:00～
おかあさん 人形劇	3月2日	講座室	一般	人形劇の上演を行う。
音楽会	6月、9月 12月、3月	講座室	一般	サロンコンサートを開催する。 ヴァイオリン、ピアノの演奏、合唱など。
ブックスタート	毎月1回 4ヶ月健診時	新田保健 センター	4ヶ月児と 保護者	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して触れ合う時間を持つことを支援する事業。読み聞かせをし、絵本2冊を贈呈する。
古本市	蔵書整理後 9月・3月	親子図書室 西側	一般	リサイクル本及び除籍した図書・雑誌を利用者に無料で提供する。

(4) 藪塚本町図書館

事業名	開催日	会場	参加者	概要
クリスマスのおはなし会	12月24日	文化ホール 多目的室	一般	ボランティアにより、クリスマスの絵本の読み聞かせ、紙芝居・ハンドベル演奏などを親子で楽しみながらふれあいを深める。
おはなし会	毎月1回 (8・3月除く)	幼児コーナー	一般	ボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせ。絵本・紙芝居の読み聞かせのほか、手遊び等も行う。 第3水曜日 11:00～
ブックスタート	毎月1回 4ヶ月健診時	藪塚本町 保健センター	4ヶ月児と 保護者	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して触れ合う時間を持つことを支援する事業。読み聞かせをし、絵本2冊を贈呈する。
古本市	年2回 蔵書整理後	館内	一般	リサイクル本及び除籍した図書・雑誌を利用者に無料で提供する。

参 考 資 料

- 太田市収蔵美術品一覧及び収蔵美術展実施状況

1 平成24年度太田市美術品一覧

品名	現在高	保管場所					備考
		社教センター	秘書課	彦九郎記念館	学習文化課	藪塚中央公民館	
油絵	191	110	77		4		中村節也・前原喜好 他
水彩画	58	22				36	今成建史・中島裕明 他
日本画	104	104					坂本泉華・小林草月 他
水墨画	18	18					楊永琚・陽太陽 他
版画	17	13	4				黒澤明・森竹巳 他
切り絵・モザイク	2	2					
テンペラ	23	23					金子眞
アクリル	2	2					
書	611	47		561	3		小暮青風 他
てん刻	2				2		
陶芸	525	525					渋沢三久 他
竹工芸	14			14			人間国宝飯塚小玕齋
皮革工芸	3	3					村岡香代子
染織工芸	4	4					
彫刻	9	7			2		佐藤忠良 他
刀・剣	70			70			人間国宝大隅俊平
計	1,653	880	81	645	11	36	

2 太田市収蔵美術展実施状況

目的 : 太田市で収蔵している美術品を市民の皆様身近に気軽に鑑賞していただく機会を提供いたします。

内容 : 太田市において購入・寄贈された市収蔵の美術品の中から油絵・日本画・水墨画・書など50点程度を展示

年度	開催期間	日数	来場者数			会場
			男	女	計	
22	12月11日(土)～16日(木)	6	317	275	592	駅なか文化館
24	10月27日(土)～31日(水)	5	160	136	296	駅なか文化館
25	8月6日(火)～11日(日)	6	181	143	324	駅なか文化館
	11月6日(火)～12日(月)	7	195	188	383	駅なか文化館

参 考 資 料

○ 市民アンケート結果

太田駅北口のにぎわい創出に係るアンケート調査（結果）

アンケート実施日

平成25年11月18日（月）～12月6日（金）

アンケート設置場所

中央図書館、尾島図書館、新田図書館、藪塚本町図書館、
児童センター、こども館（※各施設に100部設置）

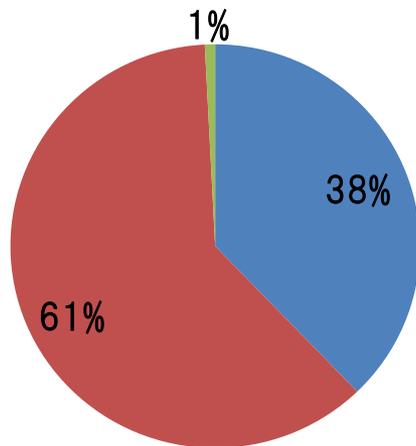
アンケート回答数

246件

（中央図書館：62件、尾島図書館：6件、新田図書館：13件、藪塚本町図書館：78件、児童館：24件、こども館：63件）

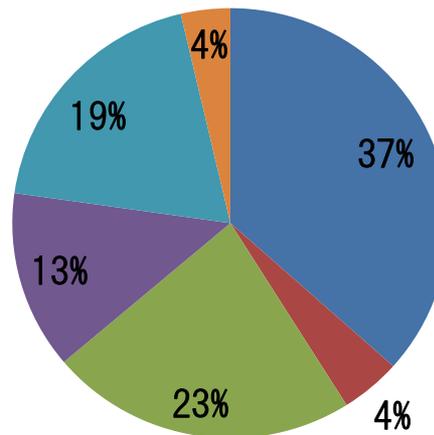
集計結果（1）

男女比



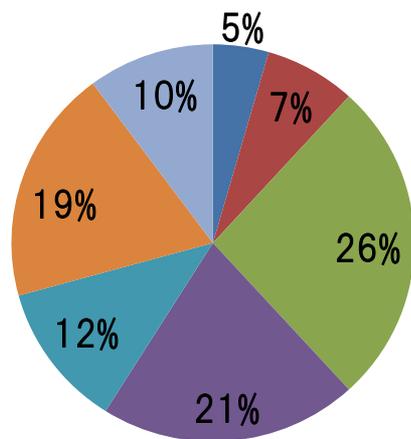
- 男
- 女
- 未回答

職業内訳



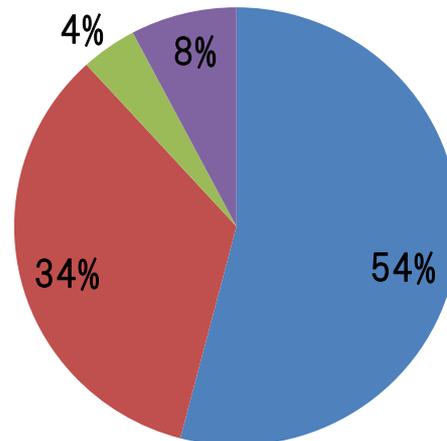
- 主婦
- 学生
- 常勤（自営含む）
- 非常勤（パート、アルバイト）
- 無職
- その他

年齢比



- 20歳未満
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

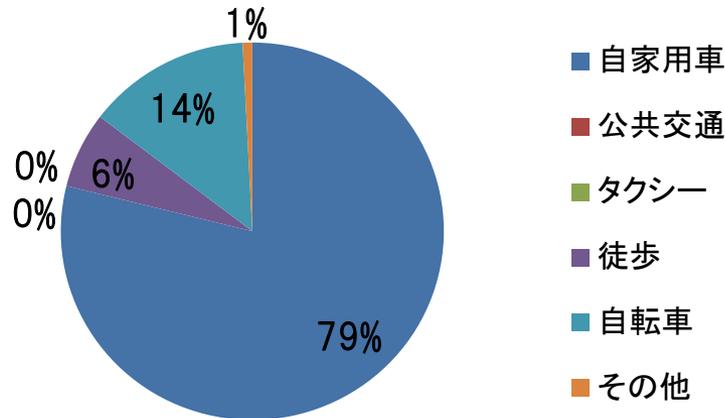
アンケート設置施設を訪れた際の同伴者内訳



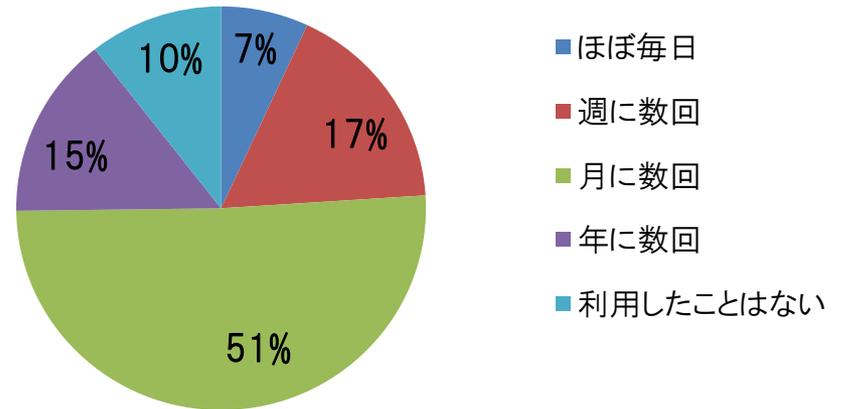
- 1人
- 子ども
- 友人
- その他

集計結果（２）

回答者が施設を訪れた際の交通手段



既存図書館の利用頻度



今回のアンケートでは、太田駅北口駅前に計画している文化交流施設について、どのような機能を市民が求めているのか調査した。

当該施設では太田駅周辺の昼間人口増加が命題となっているため、平日・昼間に外出可能な人を対象とすべく、市内4図書館、児童館及びこども館を調査対象施設とした。

男女比については、女性が約6割を占めている。職業については主婦が約4割、常勤及び無職が約2割であり、平日・昼間に主婦層やシルバー世代の利用が多く、夕方以降や休日などは就労世代の利用も多いことが推察される。

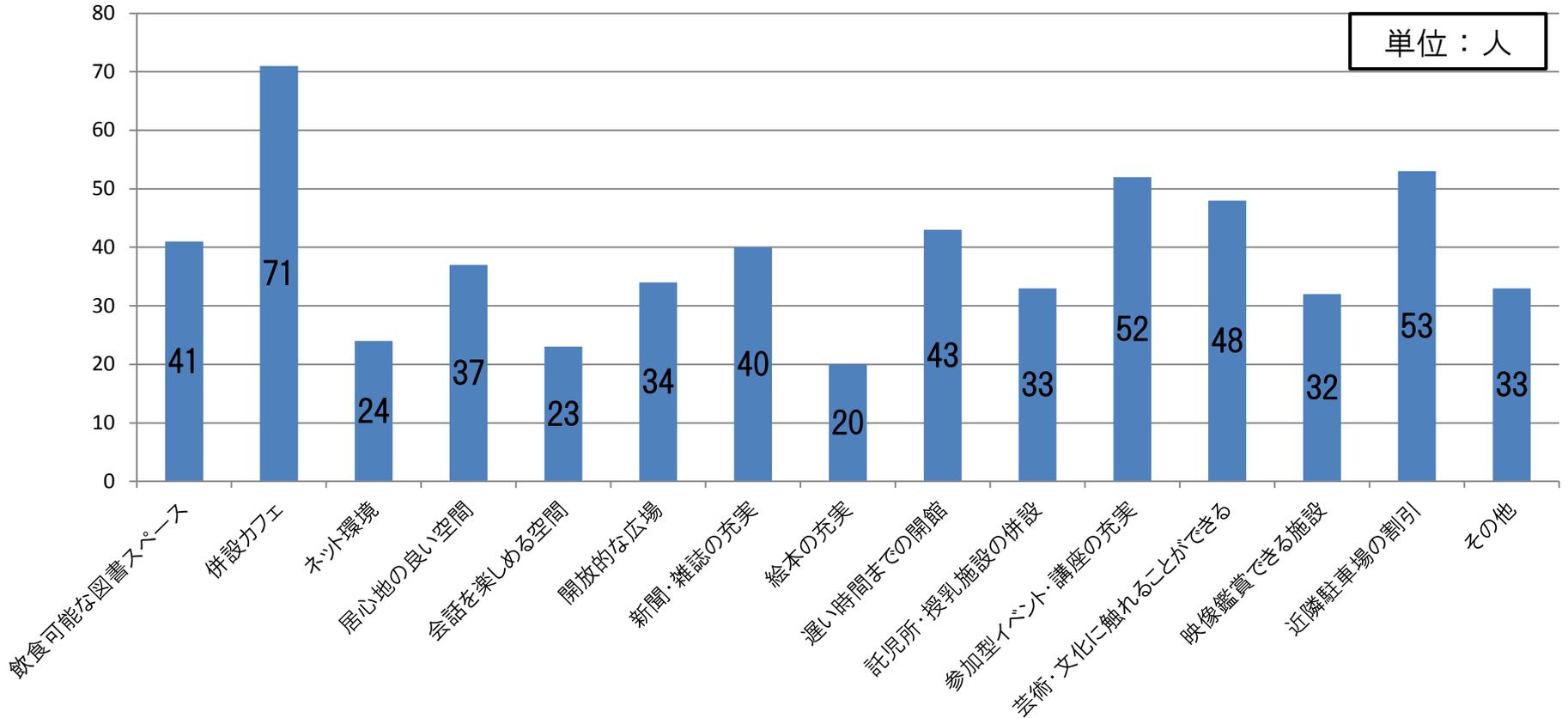
年齢層では30～40代が約5割、シルバー世代が約3割であり、男女比や職業から主な利用者は女性中心の子育て世代とシルバー世代であると推察される。この点については同伴者の内訳からも読み取ることができる。

交通手段については、本市の特徴である自動車保有台数の高さから、圧倒的に自家用車が多く、約8割を占める。

既存図書館の利用頻度では、7割の人が定期的に利用しているが、3割は利用したことがないか年数回の利用に留まる。このことから、この3割層の目線を図書館に向けるためのきっかけ作りが重要と考えられる。

集計結果（3）

文化交流施設に求める機能



新施設に求める機能については、以下の条件を付して1人3つまで回答可能とした。

①立地：太田駅北口、②機能：既存図書館の分館を含む複合施設、③その他：駐車場は近隣の公営・民間を利用（施設敷地内に利用者駐車場はない）

条件③については、周囲の駐車場を利用することで太田駅周辺の回遊性を創出するという目標に基づき設定した。

求める機能では、「併設カフェ」を求める声が多く、「参加型イベントや講座の充実」や「芸術・文化に触れる機会」といった新たな機能や「飲食可能な図書スペース」や「遅い時間までの開館」、「新聞・雑誌の充実」など既存図書館にはあまり見られない機能を求める声も多い。また、近隣駐車場の割引を求める声が第2位となっており、回遊性という目標と市民ニーズへの対応を総合的に検討していく必要があることがうかがえる。

集計結果（４）

文化交流施設に求める機能（その他意見）

求める機能	件数
駐車場の設置（無料含む）	10
自習室	3
子どもと過ごせる施設	2
安全面の配慮（周辺道路との境界等）	1
子ども同士で過ごせる施設	1
体を動かせるスペース	1
家族で利用できる有料スペース	1
バス送迎	1
ベビーカーごと入れるトイレ	1
利用者目線の蔵書	1
合計	22

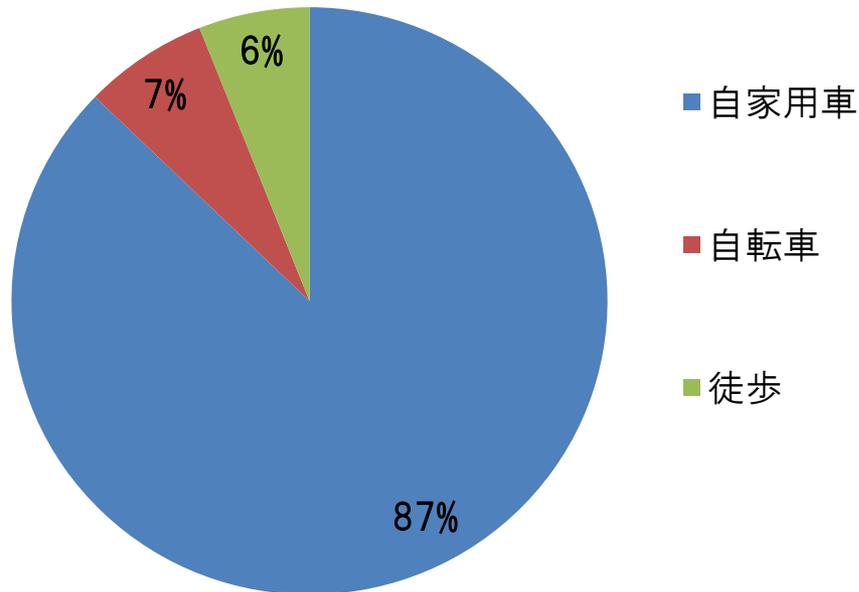
今回の調査では、対象施設の敷地内に駐車場を設けないという条件付きであったため、施設に求める機能のその他意見では、駐車場の設置を求める声が多かった。

その他の意見については、上記の一覧表のとおり。

なお、上記の意見については、各意見を抽出し、カテゴリー毎に整理したものである。

子育て世代の交通手段

施設利用時の交通手段(子育て世代)



<抽出条件>

性別:女性

職業:主婦、常勤、非常勤

同伴者:1人、子ども、友人、その他(配偶者等)

対象数:133人

子育て世代の交通手段は、全体の結果と同様、自家用車の利用が最も高いが、比率としては全体に比べ約10pt上昇している。

平日・昼間のターゲットを子育て世代と考えるのであれば、子どもや友人と自家用車で施設に訪れることを想定し、駐車場対策を検討する必要がある。

メインターゲット層が求める機能

主婦・子連れ世代が求める機能

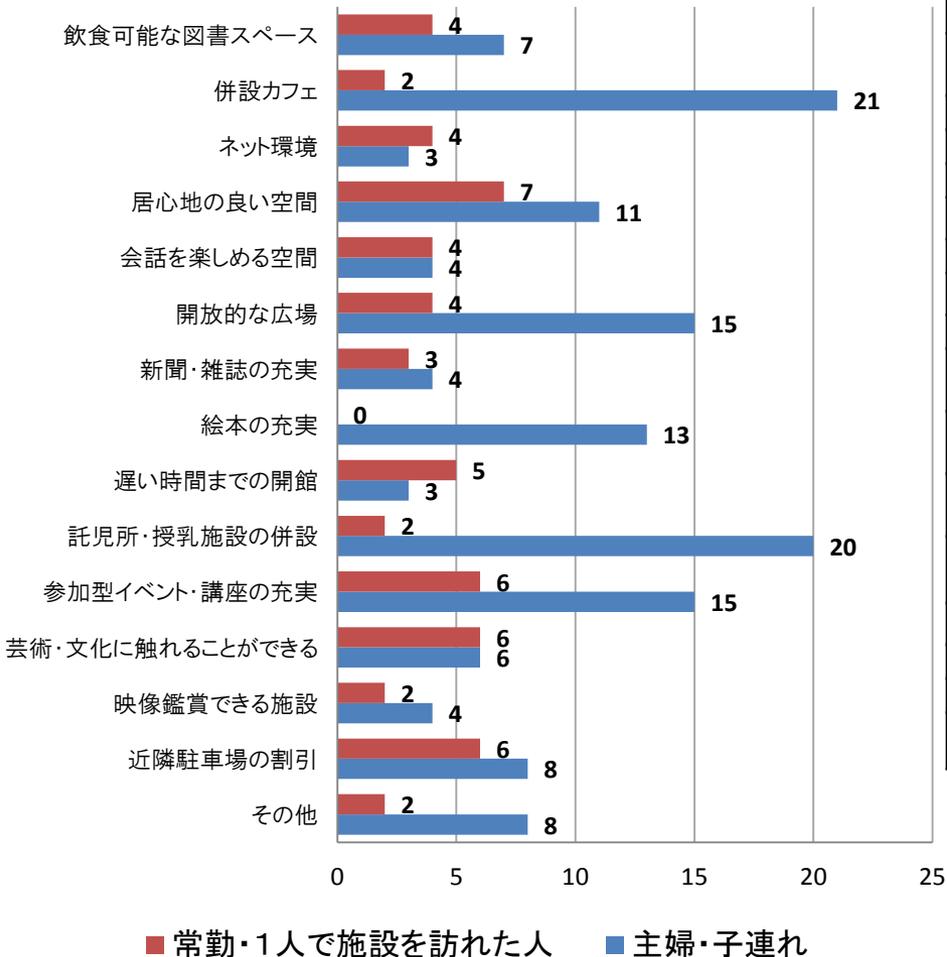
- ・併設カフェ
- ・託児所・授乳施設の併設
- ・開放的な広場
- ・参加型イベント・講座の充実
- ・絵本の充実

常勤・1人で施設を訪れた人が求める機能

- ・居心地の良い空間
- ・参加型イベント・講座の充実
- ・芸術・文化に触れることができる
- ・近隣駐車場の割引
- ・遅い時間までの開館

メインターゲット層が求める機能

メインターゲット層が求める機能



機能	対象			全体			常勤・1人で施設を訪れた人			主婦・子連れ		
	回答数	%	順位	回答数	%	順位	回答数	%	順位	回答数	%	順位
飲食可能な図書スペース	41	7	6	4	7	6	7	4.9	9			
併設カフェ	71	12	1	2	3.5	11	21	15	1			
ネット環境	24	4.1	13	4	7	6	3	2.1	14			
居心地の良い空間	37	6.3	8	7	12	1	11	7.7	6			
会話を楽しめる空間	23	3.9	14	4	7	6	4	2.8	11			
開放的な広場	34	5.8	9	4	7	6	15	11	3			
新聞・雑誌の充実	40	6.8	7	3	5.3	10	4	2.8	11			
絵本の充実	20	3.4	15	0	0	-	13	9.2	5			
遅い時間までの開館	43	7.4	5	5	8.8	5	3	2.1	14			
託児所・授乳施設の併設	33	5.7	10	2	3.5	11	20	14	2			
参加型イベント・講座の充実	52	8.9	3	6	11	2	15	11	3			
芸術・文化に触れることができる	48	8.2	4	6	11	2	6	4.2	10			
映像鑑賞できる施設	32	5.5	12	2	3.5	11	4	2.8	11			
近隣駐車場の割引	53	9.1	2	6	11	2	8	5.6	7			
その他	33	5.7	10	2	3.5	11	8	5.6	7			
合計	584	100		57	100		142	100				

<抽出条件>

①主婦・子連れ
性別:女性
職業:主婦
同伴者:子ども
対象数:142人

②常勤・1人で施設を訪れた人
年齢:20~50代
職業:常勤
同伴者:なし(1人)
対象数:57人

主婦・子連れ層は全体と同様「併設カフェ」を求める声をもっとも高く、「託児所・授乳施設の併設」や「開放的な広場」など子育て目線の要望が多い。

就労世代では、空間の快適性を求め、イベントの充実や芸術・文化に触れる機会を求めていることがうかがえる。平日・昼間や終業後の利用を考えると、そのような要望を満たす施設が求められる。

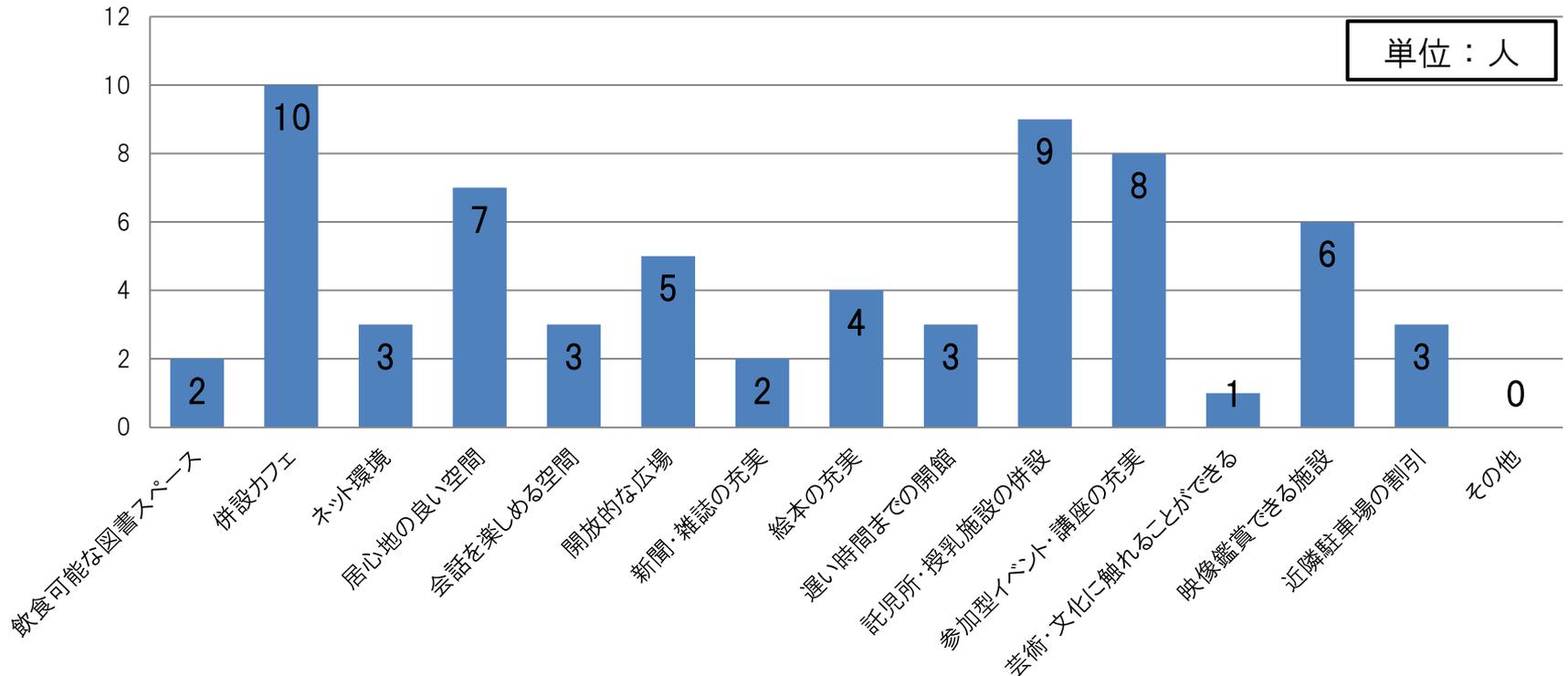
新たな獲得層が求める機能

図書館利用経験が無い人が求める機能

- ・併設カフェ
- ・託児所・授乳施設の併設
- ・参加型イベント・講座の充実
- ・居心地の良い空間
- ・映画鑑賞できる施設

新たな獲得層が求める機能

図書館利用経験が無い人



単位：人

<抽出条件>

市内図書館を利用したことがない人
対象者数：66人

主婦・子連れ層と同様「併設カフェ」や「託児所・授乳施設の併設」を求める声が高く、メインターゲット層と同様に「参加型イベント・講座の充実」を求めている声も同様に高い。既存施設に無い機能を設けることにより、これまで図書館を利用していなかった新たな層を獲得できる可能性が高い。

【自由意見】太田市の魅力・特徴について（抜粋）

児童館が充実している。 自家用車があれば短時間で 色々な所へ行ける。	児童館や公園が充実している。 子どもが参加できるイベントをもっと 増やしてほしい。	子育てしやすい。 自然が多い。	児童館が充実している。 室内プールがほしい。
子どもの施設が充実している。	子育てしやすいところが魅力である。	児童館が充実している。 医療費がかからない。	子育てに協力的
駅前が空地になっているのは大変 さびしい。おしゃれな空間、みんな で集う空間ができればよい。	芸術アカデミー、スポーツアカデ ミー、小中高一貫校等、文化・芸術 教育面が他市に比べ充実	古くからの歴史が身近に感じられ、 子どもに教えやすく親しみやすい。 季節ごとに無料で参加できるイベ ントが充実している。	イルミネーションやイベントが充実し ている。
子育てにやさしい街	太陽光	暮らす人に思いやりのある街	工場がたくさんある。
工業が発達している。 外国人が多く交流しやすい。	様々なことに臆せず前向きに検討し ようとするところ。	イルミネーションやイベントが充実し ている。	オムツ替えできるトイレがあるところ が多い。
本を借りることのできるこども館や行 政センターがある。	保育料が安くて恵まれている。 子どもが遊べる児童館等の施設が あることもうれしい。	行政センターがきれい、多い。行政 の制度などがわかりやすい(広報、 HPなど)。転入してきた市民に親切。	市外の友達が来た時に案内できる ような場所がないのでさみしいです。
近隣市町村よりも子育て支援関係 が充実している。	日本一のラグビーチームがある事を もっとアピールして頂きたい。	中島飛行機の歴史	コンパクトに施設が集まっていて利 用しやすい
車がないと不便きわまりない。	図書館が休みがほとんどなくあいて いる。	病院、スーパーマーケット、行政セ ンターが充実している。	北口を含む太田駅周辺に魅力を感じ る場所が少ない。
子どもを大切にしている施策が充実 している。	中央図書館は月1回しか休館日が ないのは全国的にみても珍しいです。	首都圏に比べてゆとりの生活が出 来る	古き良き観光資源 金山 パワーが ものすごい。
歩道が広く作られている所が多いの で散歩がしやすい。	災害が少ないところ	おしゃれで現代的。 クルマの町にあう。	

自由意見では、子育て支援を中心に市の施策に魅力を感じているという意見が多く見られた。特徴的なキーワードとして「金山」、「クルマの町」、「文化・芸術教育」、「外国人との交流」、「ラグビーチーム」、「中島飛行機」、「ゆとり」、「災害が少ない」等が挙げられる。これらのキーワードを本市の特徴＝市民の関心事と捉え、新たな図書館での選書における参考としたい。